
公益社団法人 自動車技術会

学術講演会原稿執筆要領

第 30 版

ページ

I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領, 及び PDF 作成方法	1
II 講演資料(パワーポイント等)作成要領	5
III キーワード	6

事務局:

I 予稿原稿・Summarized Paper 原稿執筆要領、及び PDF 作成方法

1. 予稿原稿 執筆要領

(1) 使用言語

日本語または英語とし、講演(口頭)の使用言語と同一として下さい。

(2) ファイル形式

PDF

(3) カラー

図・写真については、カラーが可能です

(4) 構成 (原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)

① ページ設定

A4サイズ／上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm

② 段組、行数など

左右2段組み、1段当たり47行、1行当たり27字(日本語のみ)

⇒ 1段の高さ 247mm、幅83mm、左右の段の間隔8mm

③ ページ数

日本語原稿 3ページ以上 6ページ以内

英語原稿 4ページ以上 8ページ以内(IJAEに投稿申込する場合は、2ページ)

(5) 原稿 (大会ウェブサイト上にある「予稿原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)

① 講演番号、文献番号

講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。

② 主題

⇒ 和文原稿: 主題 14ポイント、明朝体

⇒ 英文原稿: 主題 16ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Case(最初の文字は大文字、他は小文字)で記載して下さい。

③ 副題

副題はなるべく使用しないで下さい。やむを得ず付与する場合は、副題の前後には「-」(ダッシュ)を記載して下さい。ただし、第〇報の記載を行う場合は、副題の先頭に記載して下さい。

⇒ 和文原稿: 副題 9ポイント、明朝体

⇒ 英文原稿: 副題 11ポイント、Times New Roman, Upper and Lower Caseで記載して下さい

④ 著者名

a. 主著者を筆頭とし、姓・名を略さないで下さい。

b. 著者が複数の場合は、当該研究に寄与した人を必要最小限で記載して下さい。

c. 地位・身分・称号は省略して下さい。

d. 著者名の最後に片括弧書きで脚注の勤務先を示す番号(同一勤務先の場合は同一の番号)を記載して下さい。

例)自動車 太郎¹⁾ Ronbun Template²⁾

⇒ 和文原稿: 9ポイント、明朝体

⇒ 英文原稿: 11ポイント、Times New Roman(ボールド体)

e. 著者所属は研究を実施した時の所属機関名として下さい。

f. 講演者名には下線を引いて下さい

例)自動車 次郎¹⁾

⑤ (和文原稿のみ) 主題英文

②に沿った英文を記載して下さい。

⇒ 11ポイント、Times New Roman

⑥ (和文原稿のみ) 著者名英語

④に沿った英文を記載して下さい。

⇒ 9ポイント、Times New Roman

⑦ 英文要旨

内容の要点を説明する100語から200語以内の英文にして下さい。

⇒ 英文9ポイント、Times New Roman

⑧ キーワード(英文)

a. 全体の内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリーよりキーワードを選定して下さい。第1カテゴリーからのキーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリーからも

- 極力該当するキーワードを付与して下さい。
- b. 自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。
- c. 各キーワード間には「、」を入れて下さい。
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman(基準キーワード部分はボールド体)、Upper and Lower Caseで記載して下さい。
- ⑨ 分類
「自動車技術会基準キーワード」の分類の中から一つだけ選び、キーワードの最後に付けて下さい。
⇒ 9ポイント、Times New Roman (())付き
- ⑩ 本文
研究の目的、内容、結論を論理的な構成の下に明確な表現で書いてください。商業的な内容の記述はしないで下さい。
⇒ 和文原稿: 9ポイント、明朝体
⇒ 英文原稿: 9ポイント、Times New Roman
- ⑪ 図(写真を含む)及び表
a. 図表の表題及び図表中の用語は英文にして下さい。
b. 図の場合は、図の下に、表の場合は、表の上に図表タイトル(キャプション)を記載して下さい。
c. 原則として幅1段以内に表記して下さい。図表が幅1段に収まらない場合は、左右2段にまたがってもよいです。実験装置や重要な結果を示す図は大きめに作成して下さい。図表の横に空白部ができる場合、その空白部にはなるべく本文は記載しないで下さい。
⇒ 図表タイトル: 英文 9ポイント、Times New Roman
⇒ 図表中文字: 英文 7ポイント以上
- ⑫ 著者情報
(和文原稿)
a. 1ページ目の左段下部分(脚注)に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)を記載して下さい。
b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。
⇒ 和文 9ポイント、明朝体
例) 1)・2) (株)自動車技術会(102-0076 東京都千代田区五番町10-2)E-mailアドレスの記載は任意
- (英文原稿)
a. 1ページ目の著者名下部分に、著者の勤務先名、勤務先所在地(郵便番号、番地等を省略しない)をイタリック体(斜体)で記載して下さい。
b. 同一勤務先の著者が複数いる場合はまとめて記載して下さい。
⇒ 英文 9ポイント、Times New Roman
例) 1)・2) *The University of JSASE, Graduate School of Engineering
10-2 Gobancho, Chiyoda, Tokyo, 102-0076, Japan (E-mail: 任意)*
- ⑬ 原稿の発行日(公開日)
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないで下さい。
- ⑭ 参考文献
文献を引用する場合には、該当箇所の右肩に上付き「(1), (2, 3), (4-7)」のように一連の番号を付けて、本文の最後に出現順にまとめて表示して下さい(いわゆるバンクーバー方式とする)。以下の方針により記載して下さい。
a. 論文を理解するために必要十分な数の文献を引用して下さい。
b. 一般に公表されていない文献(私信、投稿予定および投稿中で未発表の論文も含む)は原則として引用しないで下さい。
c. 著者の記載方法は、和文誌の場合には姓名の順で名前を省略せずに記載し、欧文誌の場合には、First name(もしあれば1文字空白を開けてMiddle name)をイニシャル+ピリオドで記載し、1文字空白を開けてFamily nameを省略せずに記載して下さい。
d. 著者名の間は、和文誌の場合にはコンマで区切り、欧文誌の場合には2名までの著者の場合にはコンマなしの「and」でつなぎ、3名以上の著者の場合にはコンマで区切り最後の著者の前はコンマをつけた「, and」でつなげて下さい。
e. 複数の著者がいる場合には4名までを記載し、4名を超える場合には和文誌の場合には「ほか」、欧文誌の場合には「, et al.」と記載して下さい。
f. 欧文誌の論文タイトルについては、最初の一文字を大文字とし、他はすべて小文字で記載して下さい。

- ただし、略語等で大文字に意味のある場合(例: NOx, ADAS, ITS等)については大文字で記載して下さい。
- g. 文献に記載する誌名は、和文誌については原則として略記せずに記載し、欧文誌については当該誌の指定する略記を使用して下さい。
 - h. 論文集の巻、号、ページを示す記号については、vol.、no.、pp.を使用せずに記載して下さい。
(例: 第13巻2号の56-61ページの場合には、13(2)、56-61と記載する)。書籍のうち部分的に引用する場合には該当するページを記載して下さい。書籍一冊を引用する場合にあっては全ページ数を記載する必要はありません。
 - i. Digital Object Identifier (DOI) が付加されている文献には最後に DOI (doi:10.1016/1234.56.789)を記載して下さい。書籍にあっては International Standard Book Number (ISBN)を記載して下さい(例: ISBN: 978-0-262-52585-5)。
 - j. Webサイトの引用については、著者名(団体名)、Webサイトの名称、Webサイト URLを含めて下さい。URLのみの記載は適切ではありません。
 - k. Webサイトの引用については、必ず参照日を明記して下さい。例(日本語表記の場合には、参照 2023年8月13日) (英文表記の場合には、accessed August 13, 2023 なお、月については日との混同を避けるため数字ではなくスペルで記載して下さい。また、日と年の間にコンマを入れて下さい。)
 - l. フォントについては、日本語表記は明朝体(9ポイント)、英語表記はTimes New Roman (9ポイント)として下さい。
 - m. 文献記載の最後(doi. 等の後)はピリオドで終了して下さい。

文献種類ごとの具体的な記載方法は以下とします。

a. 論文を参考にする場合

著者名: 表題、雑誌名、巻(号)、初めのページ終りのページ、発行年、doi.
(記載例)

- (1) 自動車太郎: 熱工学の先端領域と展望、自動車技術会論文集、150(2)、100-105、2099, doi:10.1016/yyy1234.07.231.
- (2) 自動車太郎、二輪花子、五番町次郎、四谷三郎ほか: ベイズ理論を応用した燃焼解析手法の提案、日本機械学会論文集、960(3)、45-51、2058, doi:10.1016/xyz1234.07.231.
- (3) J. F. Bush and A. C. Walden: Proposal of human centered design using innovative display systems, SAE Int. J. Passeng. Cars - Mech. Syst. 51(1), 689-708, 2039, doi:10.4271/ccc2039-01-0817. (欧文誌の2名の著者記載方法の例、3名以上の場合には最後の著者を「、and」でつなぐ。)
- (4) A. Pfefferbaum, J. M. Ford, W. T. Roth, W. F. III Hopkins, et al.: Event-related potential changes in healthy aged females," Electroencephalogr Clin Neurophysiol. 46, 981-986, 1979, doi:10.1016/0013-4694(79)90052-X.

b. 雑誌・講演概要集を参考にする場合

著者名: 表題、雑誌名、巻(号)、初めのページ終りのページ、発行年、doi.のうち、必要な情報を記載して下さい。

(記載例)

- (5) 五番町次郎、二輪花子: 生成AIを利用したドライバ評価手法の比較検討、自動車技術会2038年秋季学術講演会予稿集、20385678、2038.
- (6) 自動車太郎、四谷三郎: 車両後部形状による揚力特性変化、日本機械学会第54回計算力学講演会講演論文集、121-122、2038.
- (7) D. Chappuis: Small size devices for acoustical measurements used in automobiles, SAE Technical Paper 2039-01-0197, 2029, doi:10.4271/2039-01-1197.

c. 単行書1冊を参考にする場合

著者名: 図書名、出版地、出版者、出版年、ISBN (もし付与されていれば) .
(記載例)

- (8) 吹抜敬彦: 画像のデジタル信号処理、東京、日刊工業新聞社、1981, ISBN:978-4526012556.
- (9) S. J. Luck: An introduction to the event-related potential technique 2nd edition, Cambridge, MA, MIT Press, 2014, ISBN:978-0-262-52585-5.

d. 単行書の一部を参考にする場合

著者名: (参考にする章・節等の表題を記載する場合には“”でくくって下さい。)、図書名、出版地、出版者、参考にする個所の初めのページ終りのページ、出版年、ISBN (もし付与されていれば) .

(記載例)

- (10) 森敏昭, 吉田寿夫: 心理学のためのデータ解析テクニカルブック, 京都, 北大路書房, 204-211, 1990, ISBN:4-7628-0131-3.
- (11) 永田靖, 吉田道弘: "第5章ノンパラメトリック法", 統計的多重比較法の基礎, 東京, サイエンティスト社, 63-79, 1997, ISBN:978-4914903466.
- (12) J. J. Eggermont: "Chapter 4 Hearing problems," in Hearing loss causes, prevention, and treatment, Cambridge MA, Academic Press, 93-128, 2017, ISBN:978-0128053980.
- (13) P. L. Soendergaard and P. Majdak: "The auditory modelling toolbox," in Technology of binaural listening, edited by J. Blauert, Berlin, Springer, 33-56, 2013, ISBN:978-3-642-37761-7. 欧文誌の2名の著者記載方法の例, 3名以上の場合には最後の著者を「, and」でつないで下さい。

e. Webサイトを参考にする場合

著者名(団体名) : Webページの題名, WebサイトURL (参照日付)

(記載例)

- (14) 警察庁 : ハイビームの上手な活用で夜間の歩行者事故防止, <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/highbeam.html>, 参照 2024年8月23日.
- (15) SAE International: SAE International® continues to power EV innovation standards with release of J3400 E V coupler recommended practice, <https://www.sae.org/news/press-room/2024/10/sae-j3400-recommended-practice>, accessed October 14, 2024.

f. 規格文書を参考にする場合

規格番号, 制定年, 規格標題ほか必要な情報を記載して下さい

(記載例)

- (16) JIS Z 8530:2021 : 人間工学一人とシステムとのインターラクション—インターラクティブシステムの人間中心設計.
- (17) ISO 9241-210:2010: Ergonomics of human-system interaction -- Part 210: Human-centered design for interactive systems.

⑯ その他の注意事項

- a. 表題・本文への会社名・商品名の明記、商業的な内容の記述はご遠慮下さい。
- b. 人を対象とする研究は、自動車技術会「人を対象とする研究倫理ガイドライン」を遵守して実施され、倫理審査委員会等による審査承認を得たものであること。また、予稿原稿中には実験等について審査承認を得ていることが記述されていること。
(「人を対象とする研究倫理ガイドライン」<https://www.jsae.or.jp/public/incorporation/guideline/>)
- c. 本文の章、節、項の見出しには、番号を付けて下さい。番号はアラビア数字と句点「.」の組合せによって表し、原則として3段階(章.節.項)までとして下さい。
- d. 文章の区切りには読点「,」(カンマ)、句点「.」(ピリオド)を用いて下さい。
- e. 年号は西暦で記載して下さい。
- f. 外国語の固有名詞は片仮名書きとし、()を付して原語を添えることが望ましい表記です。ただし、一般に周知のものは片仮名書きのみとします。
- g. 外国語を片仮名書きするときに「」や「」は用いないで下さい。複合語は一つの単語として書き、空白や「・」(中黒)を用いないで下さい。
例) クランクシャフト(crankshaft)
- h. 略語を使用する場合は、普通名詞、固有名詞にかかわらず、原語で記載して下さい。また、一般に周知でない略語を使用する場合は、最初に使用した個所で原語を()で付記して下さい。この場合の字体は正体として下さい。
- i. 用語は、文部科学省制定の学術用語及びJIS、JASO規定の用語規格によります。学術用語以外の用語についても旧文部省制定のあるものはそれにより、制定されていないものは、適正と思われる慣用語で記載し、原語を()で付記して下さい。
- j. 数量、序数を表す数字はアラビア数字を使用し、漢字と結合して名称や概数を表す場合は漢数字を使用して下さい。
- k. 小数点は、中央から下に表示し、桁数の多い数は、3桁ごとに「,」(コンマ)で区切って下さい。
- l. 国際単位系(SI)を使用して下さい。重要な数値には従来単位を併記しても問題ありません。
- m. 量記号はJIS Z 8202(量記号及び単位記号)、数学記号はJIS Z 8201(数学記号)、化学記号は万国化学記号、製図記号はJIS B 0001(機械製図)によります。

- n. 数式は(段組の)左右2段にまたがらないようにして下さい。数式に通し番号を付けるときは、右端に()を付けてその中に書いて下さい。文中で引用する場合には式(1)、式(2)のように書いて下さい。数式及び物理量を表す文字はイタリック(斜体)を使用し、単位を表す文字はローマン(立体)を使用して下さい。

2. Summarized Paper 原稿執筆要領

- (1) 使用言語
英語
- (2) ファイル形式
PDF
- (3) カラー
図・写真については、カラーが可能です
- (4) 構成(原稿作成の際は大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成テンプレート」を必ずご使用下さい。)
① ページ設定
A4サイズ／上マージン25mm、下マージン25mm、左右マージン18mm
② 段組、行数など
1段組、1段当たり47～50行
③ ページ数
1ページ
- (5) 原稿(大会ウェブサイト上にある「Summarized Paper原稿作成見本」を必ずご参照下さい。)
① 講演番号、文献番号
講演番号、文献番号は事務局側で記載しますので、著者側で記載しないでください。
② 主題(英文): 1. (4)-③参照
⇒ 英文 16 ポイント、Times New Roman
③ 副題(英文): 1. (4)-④参照
⇒ 英文 11 ポイント、Times New Roman
④ 著者名(英文): 1. (4)-⑤参照
⇒ 英文 11 ポイント、Times New Roman(ボールド体)
⑤ 著者の勤務先等(E-mailアドレスは任意記載): 1. (4)-⑥参照
⇒ 英文 9 ポイント、Times New Roman(イタリック体)
⑥ 原稿の発行日(公開日)
原稿1ページ目のフッターに、事務局側で発表講演名と発行日(公開日)を記載しますので、著者側では記載しないでください。
⑦ キーワード(英文): 1. (4)-⑧参照
⇒ 英文 9 ポイント、Times New Roman(基準キーワード部分はボールド体)
⑧ 分類: 1. (4)-⑨参照
⇒ 9 ポイント、Times New Roman ([]付き)
⑨ 本文(英文): 1. (4)-⑩参照
⇒ 英文 9 ポイント、Times New Roman
⑩ 図(写真を含む)及び表: Summaryを示す図表(写真を含む)を必ず一つ以上入れて下さい。
⇒ 図表タイトル: 英文 9 ポイント、Times New Roman
⇒ 図表中文字: 英文 7 ポイント以上

3. PDF 作成方法

- (1) 適切なPDF変換をするためにAdobe社のAcrobat 8.0以上の使用を推奨します。
- (2) フォントの埋め込みを行って下さい。作成時にPDF設定をプレス品質に指定するとフォントが自動的に埋め込まれます
- (3) 「色」は「カラー」に設定して下さい。
- (4) 図・写真の「解像度」はカラー・グレースケールで300dpi以上、白黒で600dpi以上にして下さい。
- (5) PDFファイルの「サイズ」は、「予稿原稿」は8MB、「Summarized Paper原稿」は1MB以下にして下さい。
- (6) 「予稿原稿」と「Summarized Paper 原稿」は別ファイルにして下さい。
- (7) PDF ファイルにはセキュリティ設定をかけないで下さい。

4. PDF ファイルのアップロード方法

- (1) 受付番号とパスワードを入力して講演受付システムにログインし、アップロードして下さい。
- (2) 必ず拡張子(***.pdf)が付いたファイルをアップロードして下さい。
- (3) 予稿原稿と Summarized Paper 原稿は、同時にアップロードして下さい。原稿提出締切日までは、何回でも再アップロード(更新)が可能です。原稿提出締切日以降の原稿の差し替えはできません。

II 講演資料(パワーポイント等)作成方法

1. 講演資料(パワーポイント等)

(1) 使用言語

講演時に用いる映写資料(パワーポイント等)は、講演の使用言語が英語・日本語に関わらず、次を使用して下さい。

春季大会:「英語」

秋季大会:「英語」又は「日本語」

(2) ファイル形式

パワーポイント等

(3) 内容

① 予稿原稿の内容に沿ったものにしてください。

② 商業的な内容を避け、商品名及び所属機関名、これらのロゴを含まないようにしてください。(ただし、所属機関名、および所属機関のロゴ等は1ページ目のみに記載できることとします。)

(4) 作成の際の留意事項

① 1枚にひとつの事柄のみをまとめ、1分／枚程度を目安として下さい。

② 式や文字による説明は1枚に7~10行程度として下さい。記号や文字の太さは24pt以上にすると見やすくなります。

③ 図表の表題及び図表中の用語は英語にして下さい。

III キーワード

キーワードの種類

キーワードは基準キーワード(自動車技術会基準キーワード)と自由キーワードの2種類です。

(1) 基準キーワード

全体の内容が推測できるよう「自動車技術会基準キーワード」の第1、第2及び第3カテゴリより選定して下さい。

第1キーワードの選定は必須とし、第2及び第3カテゴリーからも極力該当するキーワードを付与して下さい。

(2) 自由キーワード

自由キーワードは、著者が表題及び本文から自由に設定して下さい。

- ① 具体的な意味のある語句で、できるだけ狭義な語句を選定して下さい。

× Critical Speed → ○Critical Speed

→ Tool Life Fatigue Life

- ② 名詞形を使用して下さい

→ ○Experimental Study

- ③ 省略形は(海外も含め)その専門分野で広く通用しているものに限ります

(著者が作った新語は原則として使用しないで下さい。)

* ATC → Automatic Tool Change

- Automatic Train Control

→ Automatic Train Control

× Fatigue Strength at Elevated Temperature

× Fatigue Strength at Elevated Temperature

昇はフルスペルハング(記号)で示す。

- ⑤ 合金名、化合物名、元素名、核種名などの記号は、フルベックン(記号)で示して下さい。
 例: CrMo → Chromium Molybdenum (CrMo)

→ Chromium Molybdenum (CrMo) → Aluminum Oxide (Al_2O_3)

$$\times \text{Al}_2\text{O}_3 \rightarrow \text{Aluminum Oxide} (\text{Al}_2\text{O}_3)$$

$$\times \text{Cu} \rightarrow \text{Copper} (\text{Cu})$$

1) 善語、類似語がある場合には、箇潤かの、頗るの高いも

義語・類似語がある場合には、簡潔なもの、頻度の高いものを選択して下さい。

う場合には、加えて下さい。

自動車技術会基準キーワード
Automotive Technology: Standardized Keywords

2010年5月発行/Issued: May 2010
 2013年10月改訂/Revise: October 2013
 2025年10月改定/Revised October 2025

(*) ... 英略語は末尾にフルスペルを表記
 (*): Items marked with an asterisk
 are spelled out in the definition.

目的・分野 Purpose/field		目的の対象 (もの、ハードおよびソフト)	Objects/hardware/software	手法・内容および技術要素	Means/details/component technologies
分類 Category Code	第1カテゴリー Category 1	第2カテゴリー	Category 2	第3カテゴリー	Category 3
(A1)	①熱機関 heat engine	圧縮着火機関	compression ignition engine	計測/診断/評価	measurement/diagnosis/evaluation
		火花点火機関	spark ignition engine	数値計算	numerical calculation
		予混合圧縮着火	homogeneous charge compression ignition	設計/制御	design/control
		新型機関	new combustion model/new combustion model engine	理論/モデリング	theory/modeling
		ロータリ機関	rotary engine/rotary combustion engine	性能/燃費/効率	performance/fuel economy/efficiency
		スターリング機関	Stirling engine	燃焼解析	combustion analysis
		ガスタービン/蒸気タービン	gas turbine/steam turbine	排出ガス/有害排出物	emissions gas/harmful emissions
		エンジン部品・要素	engine component or element	燃料噴射/燃料噴霧	fuel injection/fuel spray
		ターボチャージャ/VGターボ	turbocharger/variable geometry turbo	吸排気	intake and exhaust
		スーパー・チャージャ	supercharger	過給	supercharging
		可変動弁機構	variable valve train	混合気形成/ガス流動	mixture formation/gas flow
		エンジン補機類	engine accessory	燃料改善/燃料改質	fuel improvement/fuel
		ターボコンパウンド	turbo compound	添加剤	additive
		後処理システム	post treatment system	潤滑/トライボロジー	lubrication/tribology
		三元触媒	three-way catalyst	振動/騒音	vibration/noise
		deNOx触媒/SCR脱硝/NOx還元触媒	de-NOx catalyst/selective catalytic reduction NOx removal/NOx reduction catalyst	冷却	cooling
		微粒子フィルタ	particulate filter		
		燃料/代替燃料	fuel/alternative fuel		
		ガソリン/軽油/灯油/重油	gasoline/light oil (gas oil/diesel oil)/heavy oil		
		エタノール/BDF	ethanol/bio-diesel fuel		
		LPガス/天然ガス/水素	liquefied petroleum gas/natural gas/hydrogen		
		DME/FT合成油	dimethyl ether/Fischer-Tropsch synthetic oil		
		潤滑油/エンジンオイル	lubricating oil/engine oil		
(A2)	②動力伝達系 power transmission	発進システム	start control system	加工	machining
		変速機	transmission	材料	material
		デフレンシヤル/終減速機	differential/ final reduction gear unit	強度	strength
		MT	manual transmission	疲労	fatigue
		AT	automatic transmission	機構	mechanism
		CVT	continuously variable transmission		
		AMT/DCT	automated manual transmission/dual clutch transmission		
		新型トランスミッション	new type transmission		
		動力分配システム	transfer		
		AWDシステム	all-wheel drive system		
		ハイブリッドシステム	hybrid system		
		駆動軸/ジョイント	drive axle/joint		
		クラッチシステム	clutch system		
		歯車/ギアシステム	gear/gear system		
		ドライブトレイン	drivetrain		
		ベルトドライブ/トラクションドライブ/チェーンドライブ	belt drive/traction drive/chain drive		
		制御システム	control system		
		油圧システム	hydraulic equipment		
(A3)	③EV・HVシステム (*) EV and HV systems	同期機構	synchromesh		
		軸受	bearing		
		潤滑油/トランスミッションオイル	lubricating oil/transmission oil		
		モータ	motor	モータ特性	motor characteristics
		モータ駆動システム	motor drive system	電気動力変換	electric power conversion
		インバータ/コンバータ	inverter/ converter	エネルギー回生	energy regeneration
		パワーコントロールユニット	power control unit	システム技術	system technology
		電池技術	battery technology	充電インフラ	filling infrastructure
		リチウムイオン電池/ニッケル水素電池/鉛電池	lithium ion battery/nickel-metal hydride battery (nickel hydrogen battery)/lead-acid	動力分割	power split
		SOC	state of charge (SOC)	絶縁	insulation
		充電/放電	charge/discharge	標準化	standardization
		車載充電システム	onboard charging system	法規	regulation
		蓄電システム	power storage system	電気安全 (感電防止)	electrical safety (electric shock prevention)
		電動補機/空調	electrical accessories/air conditioning	EMC	electromagnetic compatibility
		補機システム	accessories	普及政策	policy of popularization

	プラグインハイブリッド 燃料電池 スタックセル 水素タンク 水素製造/改質 エネルギー充填/水素充填/インフラ エネルギー制御システム ブレーキ制御/回生協調ブレーキ	plug-in hybrid fuel cell stack cell hydrogen tank hydrogen production/hydrogen reforming energy replenishment/hydrogen filling/infrastructure energy control system brake control/regenerative-friction brake coordination	エネルギーバランス エネルギー管理 冷却/熱・温度マネージメント	energy balance energy management cooling/heat and temperature management	
(B1)	④車両運動 vehicle dynamics	電子スタビリティ制御 サスペンションシステム 電子制御サスペンション ブレーキシステム ブレーキバイワイヤ/ABS ステアリングシステム ステアバイワイヤ/パワーステアリング タイヤ/ホイール シャシ/コンポーネント 車間距離自動維持運転システム 車線維持支援システム 横滑り防止装置 二輪車/大型車両/特殊車両/航空機	electronic stability control suspension system electronically controlled suspension brake system brake-by-wire/antilock brake system (ABS) steering system steer-by-wire/power steering tire/wheel chassis/component adaptive cruise control system lane-keeping assistance system electronic stability control motorcycle/heavy duty vehicle/special vehicle/aircraft	運動制御 車両動力学 評価技術 ドライバモデル 操縦安定性 力学モデル 道路環境認識 運転意図認識	motion control vehicle dynamics evaluation technology driver model driving stability dynamic model road environment recognition driver intention recognition
	⑤車両開発 vehicle development	プラットフォーム CAD/CAM/CAE パーソナルモビリティ ホワイトボディ バンパー/ボデー外板 インストパネル シート/照明 デザイン HILS	platform computer-aided design (CAD)/computer aided manufacturing/computer aided engineering personal mobility body shell/white body/body in white bumper/body model instrument panel seat/lighting design hardware in the loop simulation	性能計画 エクステリア/インテリア カラー 車体構造/車体設計 構造部材解析 車両計画 軽量化 設計最適化/ロバスト設計 設計シミュレーション/設計ツール/設計モデリング 短期試作/仮想進行 車両用途 モータースポーツ 信頼性 負荷シミュレーション	performance plan exterior/interior color body structure/body design structural member analysis vehicle plan weight reduction design optimization/robust design design simulation/design tool/design modeling rapid prototyping/virtual planning vehicle application motor sports reliability load simulation
	⑥振動・騒音・乗り心地 vibration, noise, and ride comfort	パワートレイン/車体/エンジン懸架系 吸排気システム/駆動系 サスペンションシステム ブレーキ/タイヤ 車体構造/車体材料 防音材 補機・デバイス騒音 アイドル振動騒音/加速時騒音 こもり音/振動 静謐性 ドラミング（低周波ロードノイズ） ロードノイズ/パターンノイズ パワートレイン・振動（始動/発進/変速） うなり音（パワートレイン/駆動系） ギア音 乗り心地 ハーシュネス シミー 走行車体振動 風切り音 ブレーキ鳴き/ジャダー 車外騒音/騒音規制	power train/body (vehicle body)/engine mounting system intake and exhaust system/drive line (drivetrain) suspension system (suspension) brake/tire body structure/body material acoustic material accessory and device noise idling vibration/idling noise/acceleration noise booming noise/vibration quietness drumming noise (low frequency road noise) road noise/pattern noise powertrain oscillation (powertrain start/vehicle start/shift) whine/growl/beat noise (powertrain/drive line (drivetrain)) gear noise ride comfort harshness shimmy body vibration while driving wind noise brake noise/judder exterior noise/noise regulation	CAE解析/予測/最適化 有限要素法/境界要素法 評価技術/計測技術/音源探索技術 マルチボディダイナミクス 統計的エネルギー解析法 フルビークル解析 実験解析技術 最適化技術 音質評価/乗り心地評価 デバイス技術/制御技術 モード解析/伝達経路解析/流体騒音解析 モード解析/伝達経路解析/流体騒音解析	CAE simulation/forecast/optimization finite element method (FEM)/boundary element method (BEM) evaluation technology/measurement technology/sound source search technology multi-body dynamics statistical energy analysis full-vehicle simulation test and analysis technology optimization technique sound quality evaluation/ride comfort evaluation device technology/control technology modal analysis/transfer path analysis/fluid induced noise analysis

(C1)	⑦安全 safety	衝突安全/火災安全/予防安全/統合安全	passive safety (collision safety/crash safety)/fire safety/active safety/combined active and passive safety/integration control/integrated control	道路環境認識	road environment recognition
		安全教育	safety education	画像処理/情報処理	image processing/information processing
		素材可燃性テスト	material flammability test	知能化/コンピュータ応用	intelligent/computer application
		抑制システム	suppression system	乗員検知/乗員の安全	occupant detection/occupant safety
		救命救急/乗員保護/歩行者・2輪 乗員保護/交通弱者保護	first aid/occupant protection/pedestrian and bicycle and motorcycle rider protection/protection for vulnerable road users	被害軽減	damage mitigation
		事故回避/衝突予知	accident avoidance/collision prediction	衝撃吸収・緩和	energy-absorbance and impact attenuation
		衝突試験	crash test	事故解析/事故統計解析	accident analysis/statistical accident analysis
		後方衝突/側方衝突/前方衝突	rear end collision/side impact/frontal collision	事故調査/分析	accident investigation and analysis
		防火	fire protection	ヒヤリハット解析	near-miss analysis
		ブリクッシュ	pre-crash	救命率/初療開始	survival rate/start of initial treatment
		コンパチビリティ	compatibility	傷害予測	injury prediction
		ドライビングシミュレータ	driving simulator	傷害メカニズム	injury mechanism
		エアバッグ/シートベルト	air bag/seat belt	事故再現/事故復元	accident reconstruction/accident re-creation
		人体モデル/ダミー	anthropomorphic dummy/crash test dummy	安全人体モデル	anthropomorphic dummy
		ドライブレコーダー/EDR	drive recorder/event data recorder	車両転覆	rollover
		車体構造	body structure	センサ技術	sensor technology
		シート/ヘッドレストレイン	seat/head restraint	高齢者耐性/高齢者運転特性	injury tolerance of older people/characteristics of older drivers
		高齢者保護/子ども保護	protection of older people/child protection	受傷部位/加害部位	injured area/impacting area
		CRS	child restraint system	重傷度 (AIS)	abbreviated injury scale
		妊婦乗員保護	expectant mother protection	車両運動制御/エアバッグ制御	vehicle dynamics control/airbag control
		歩行者検知/保護	pedestrian detection/protection	車線維持制御	lane-keeping control
		自動ブレーキ	automatic brake	ナビゲーション	navigation system
		被害軽減ブレーキ/警報	damage mitigation brake/warning	車両間・路車間通信	vehicle-to-vehicle and infrastructure-to-vehicle communication
		知能化自動車	intelligent vehicle	運転支援/ドライバ支援	driving support/driver support
		ACC	adaptive cruise control	ISS	injury severity score
		道路環境	road environment	マクロデータ/ミクロデータ	macro data/micro data
		交差点カメラ	intersection camera	リスクカーブ	risk curve
		傷害データベース	injury database	加害性	risk
		臨界安全システム	critical safety system	デルタV	delta-v/change in velocity
		シートベルトリマインダ	seat belt reminder	回避行動	evasive action
		事故通報システム (ACN)	automatic crash notification/automatic collision notification	試験/評価	test/evaluation
		ドクターヘリ/ドクターカー	doctor helicopter/doctor car	第三者評価	third-party evaluation
		免許制度	licensing system	法規	regulation
		傷害基準	injury criteria	CAE	computer aided engineering
		インパクタ	impactor		
		ヘルメット	helmet		
(C2)	⑧人間工学 human engineering	高齢者	elderly person (people)	高齢者対応	elderly person (people) support
		人体傷害	human body injury	実験倫理/技術倫理	experiment ethic/engineering ethic
		バイオメカニクス	biomechanics	ストレス/主観/パフォーマンス評価	stress/subjective view/performance evaluation
		生体計測/運転心理	bioinstrumentation/driving psychology	ドライバセンシング/ドライバモニタリング	driver sensing /driver monitoring
		ドライバ状態	driver condition	ドライバモデル/ライダーモデル	driver model/rider model
		認知反応時間	cognitive reaction time	ドライバ状態モニタリング	driver condition monitoring
		居眠り/飲酒	drowsiness/alcohol drinking	ドライバ特性/ドライバ行動/ドライバ疲労/ドライバ注意	driver characteristics/driver behavior/driver fatigue/driver attention
		タスク負荷	task load/driver burden	運転特性	driving characteristics
		心拍測定	cardiotachometry	ドライビングシミュレータ	driving simulator
		リスク補償	risk compensation	視界/視認性/操作性/制御性/乗降性/快適性	field of vision/visibility/operability/controllability/ease of egress and ingress/comfort
		過信/不信	overconfidence/disaffection	聴覚/力覚/触覚	sense of hearing/sense of force/haptic sense
		ヒューマンインターフェース	human interface	認知/判断	recognition/judgment
		車酔い/香り/覚醒	car sickness/aroma/awakening	操作	operation
		疲労/負担	fatigue/workload	運転姿勢	driving posture
		ディストラクション	distraction	個人差	individuals difference/variation
		ワークロード	workload	精神負担/身体負担	mental workload/physical workload
		リスク認知	risk recognition	脳・神経系/筋・骨格系	cerebral nerve system/musculoskeletal system

	ヒューマンエラー	human error	生体計測/生体力学	bioinstrumentation/biomechanics
	感性/視覚/視認性	sensitivity/vision/visibility	運転支援	driving support/driver support
	HMI	human machine interface	警報	alarm/warning
	警報システム	warning system	生理計測	physiological measurement
	情報提供システム	information systems	自律神経/中枢/内分泌	automatic nervous system/central nervous system/endocrine secretion
	意図確定	intent determination	視覚系/嗅覚系	visual system/olfactory system
	運転能力	driving ability	形態・動態特性/感性・知覚特性	morphological and dynamic characteristics/perceptual and sensory characteristics
	ドライブレコーダ	drive recorder	操作量/作業成績	operation amount/operational performance
	質問紙/インタビュー	questionnaire/interview	行動観察	behavior observation
	運転行動	driving act/driver behavior	精神・肉体疲労	mental and physical fatigue
	ユーザビリティ	usability	HMI	human machine interface
	温熱環境	thermal environment		
	ドライビングポジション	driving position		
	メンタルモデル	mental model		
	顔表情	facial expression		
(D1)	⑨熱・流体 heat・fluid	車体/エンジン/吸排気系/部品要素	body/vehicle body/engine/intake and exhaust system/part element	CFD
		空力性能/空力騒音	aerodynamic performance/aerodynamic noise	風洞試験
		ラジエータ/オイルクーラ	radiator/oil cooler	アルゴリズム/モデリング
		油冷システム/空冷システム	oil cooling system/air cooling system	車室内環境
		エアコンディショナ	air conditioner	エンジン冷却
		冷媒	refrigerant	空調/快適性
		空気質/臭い	air quality/odor	温度制御/環境制御
				熱害
(D2)	⑩環境・エネルギー・資源 environment・energy・resources	リサイクル	recycling	環境重視型生産
		リユース	reuse	環境指向型生産設計/リサイクル設計
		レアメタル/レアアース	rare metal/rare earth	メンテナンス
		ISO14000	ISO14000	基準
		太陽光/風力	sunlight/wind power	国際環境政策/政策分析
		LCA	life cycle assessment	材料リサイクル
		大気環境/水質環境/土壤環境	air quality/water quality/soil environment	ライフサイクル管理
		排出ガス	emissions/emission gas	設計/生産
		燃費/熱効率	fuel economy/thermal efficiency	高耐用技術
		新エネルギー	new energy	規制/政策/標識
		再生可能エネルギー/リニューアブルエネルギー	recyclable energy/renewable energy	健康影響
		燃料/代替燃料	fuel/alternative fuel	評価モード
		有害大気汚染物質	hazardous air pollutant	国際基準調和
		温暖化ガス	heat-trapping gas/greenhouse gas	製造/使用/廃棄段階
		VOC	volatile organic compound	エネルギー製造
				気候変動
(D3)	⑪材料 materials	鉄鋼材料	iron and steel materials	試験/評価
		軟鋼板/高張力鋼板/表面処理鋼板	low carbon steel sheet/mild steel sheet/high-strength steel sheet/surface treated steel sheet	モデリング
		ステンレス鋼	stainless steel	負荷シミュレーション
		特殊鋼	special steel	信頼性/ロバスト設計
		鋳鉄	cast iron	防錆
		焼結材料/粉末合金	sintering material/powder alloy	軽量化
		非鉄材料	non-ferrous material	強度/剛性/耐磨耗
		アルミニウム合金/マグネシウム合金/チタン合金	aluminum alloy/magnesium alloy/titanium alloy	疲労
		複合材料	composite material	耐食/電食
		高分子材料	polymer material	添加
		エラストマ	elastomer	熱処理/焼き入れ
		ポリマー複合材	polymer composite material	表面処理/めっき
		SMC	surface mount chip or sheet molding compound	鋳造/鍛造
		プラスチックリサイクリング	plastic recycling	接合/結合/溶接
		インストバネル	instrument panel	プレス技術
		バンパ/車体/外装	bumper/body/vehicle body/exterior	プロセス
		内装/シート	interior/seat	精錬
		接着剤	adhesive	加工性/リサイクル性
		塗料	paint	衝撃性/透明性
		エンジンコンポーネント	engine component	耐熱/耐油/耐燃料/耐水/耐光

	シール/ガasket 窓ガラス 構造用セラミクス/エレクトロセラミクス 二次電池材料/モータ用材料 電磁鋼板 電解質 永久磁石 触媒 グリース	seal/gasket window glass structural ceramics/electroceramics secondary battery material (rechargeable battery material)/material for motor magnetic steel sheet electrolyte permanent magnet catalyst grease	平滑性 絶縁性能 ナノテクノロジー 破壊/酸化/劣化/耐熱性 磁気特性 フリクション 摩擦	smoothness insulation performance nanotechnology fracture/oxidation/deterioration /degradation/heat resistance magnetic characteristics friction
(D4)	⑫生産・製造 production・manufacture	素形材 成形加工 付加加工 チームワーク設計 量産試作 鋳造/鍛造/組立/塗装/艤装 生産計画/製造計画/生産管理/製造管理 品質管理/供給系管理/日程管理 金型 熱処理/表面処理 設備/保守/メンテナンス 調達/購買 一貫生産 PLM/BOM/PDM/MES	formed and fabricated materials forming process additional machining teamwork design quantity production prototyping casting/forging/assembly/painting/rig/trim production plan/manufacturing plan/production management/manufacturing control quality control/supply control/schedule control/schedule management die/mold heat treatment/surface treatment equipment/maintenance procurement/purchase continuous production product lifecycle management/bill of materials/product data management/manufacturing execution system	企画/意匠 材料/コスト プレス/樹脂(プラスチック) 機械加工/高エネルギー密度加工 接合/溶接/肉盛り CAT/評価/品質 検査/測定 設計/試作 モジュール トータルコスト design/prototyping
	⑬エレクトロニクス及び制御 electronics and control	電子デバイス//パワーデバイス 電源IC 車載マイコン/車載ASIC 車載SoC/GPU,NPU ECU/PCU フィジカルセンサ/ケミカルセンサ MEMS 電動アクチュエータ LEDライト 灯火系 ワイヤーハーネス/電力系ワイヤーハーネス EDR OBD ミリ波レーダ/レーザレーダ (Lidar)/UWB 半導体カメラ/赤外カメラ 表示デバイス/操作デバイス/警報・情報提供デバイス 車庫入れ支援システム ドライバ状態検知制御システム/セキュリティ制御システム HMI表示/HMI操作/HMI情報提供システム 画像認識システム/音声認識システム 知的制御システム/自律走行システム 電力システム エンジン制御/トランスミッション制御/シャシー制御 衝突安全制御/予防安全制御/知能化安全制御 統合制御/車体系制御/バイワイヤ制御/EV・HEV制御 制御シミュレーション/HILS	electronic device/power device power supply integrated circuit microprocessor/application specific integrated circuit system on chip/graphic processing unit, neural processing unit electronic control unit/power control unit physical sensor/chemical sensor micro electro mechanical systems electrical actuator light emitting diode light light wiring harness/wire harness/electrical system wire harness event data recorder on-board diagnostics millimeter wave radar/laser radar/ultra wide band radar semiconductor camera/infrared camera device/operation device/warning and information parking assist system driver state detection control system/security control system human machine interface display/human machine interface operation/human machine interface information provision system image recognition system/speech recognition system control system/autonomous land system/autonomous driving system electrical system engine control/transmission control/chassis control passive safety control/active safety control/intelligent safety control integration control/vehicle body control/by-wire control/electric vehicle and hybrid electric vehicle control control simulation/hardware in the loop simulation	データ転送・蓄積 ハードウェア・ソフトウェア標準化 テスト情報管理 試験/計測/診断 信頼性/シミュレーション 制御システム/ソフト 電子物性 電気回路/電子回路 車両センサ/アクチュエータ 画像処理 オノロードテスト/耐久テスト/部品レベルテスト 新計測法 知能化 システム工学 機能安全 電気機器 パッケージ/アセンブリ/実装技術 データ転送・蓄積 ハードウェア・ソフトウェア標準化 テスト情報管理 試験/計測/診断 信頼性/シミュレーション 制御システム/ソフト 電子物性 電気回路/電子回路 車両センサ/アクチュエータ 画像処理 オノロードテスト/耐久テスト/部品レベルテスト 新計測法 知能化 システム工学 機能安全 電気機器 パッケージ/アセンブリ/実装技術

	エコカーエレクトロニクス 制御ナビゲーション EMC (EMI/EMS) ロボティクス 自動運転 隊列走行	environmentally friendly car electronics control navigation electromagnetic compatibility (electromagnetic interference/electromagnetic susceptibility) robotics autonomous driving platooning			
(E2)	⑭情報・通信及び知能化 information, communication, and	LIN CAN FlexRay PLC 車載高速通信 ブルートゥース 無線LAN UWB通信 WiMax セルラー通信 インターネット通信 V2X (ワイヤレス) V2G/V2X (電力線) インナビ交通情報 HDラジオ PND ドライブレコーダ 車両ナビゲーション/コミュニケーションシステム IVI/車載インフォテイメント クラウドシステム スマートグリッド リモートダイアグ 電子すかし技術 セキュア通信プロトコル ネットワークトレーサビリティ 車載多重通信システム コネクティッドカー 遠隔操作	local interconnect network controller area network FlexRay power line communication high-speed communication Bluetooth wireless local area network ultra wide band communication Worldwide Interoperability for Microwave Access cellular communication Internet communication vehicle to everything communication vehicle to grid traffic information HD Radio portable navigation device/personal navigation device drive recorder vehicle navigation system/communication system in vehicle infotainment cloud system smart grid remote diagnostics digital watermark technology secure communication protocol network traceability on-board multiplex communication system connected car remote control	車両間通信 情報システム オーディオ ナビゲーション 環境認識 通信システム 室内ネットワーク/車両ネットワーク IT/ITS メディア情報 エコドライブ 音声/物体認識 光通信 WEBコンテンツ 分散処理システム マルチコアCPU オペレーションシステム ドライブレコーダ 車両ナビゲーション/コミュニケーションシステム IVI/車載インフォテイメント クラウドシステム スマートグリッド リモートダイアグ 電子すかし技術 セキュア通信プロトコル ネットワークトレーサビリティ 車載多重通信システム コネクティッドカー 遠隔操作	inter-vehicle communication/vehicle-to-vehicle communication information system audio navigation system environment recognition communication system interior network/vehicle information technology/intelligent transport system media information eco-drive/environmentally friendly driving speech recognition/object Recognition optical communication web contents distributed processing system multi-core CPU operating system drive recorder vehicle navigation system/communication system in vehicle infotainment cloud system smart grid remote diagnostics digital watermark technology secure communication protocol network traceability on-board multiplex communication system connected car remote control
	⑮ソフトウェアとその要素技術 software and its underlying technologies	ブロックチェーン サイバー攻撃手法 ソフトウェアパーティショニング データマイニング データ可視化 データ表現フォーマット ファイルシステム データベース 通信ミドルウェア 言語処理系 オペレーティングシステム 分散フレームワーク 自動運転システムプラットフォーム (Autoware, Apollo) ビーカーOS モデリング言語 HILS, SILS デザインパターン プログラミング言語 コーディングガイドライン オートコード テストフレームワーク デバッグツール プロファイラ テストカバレッジ CI/CT 能力評価モデル アシュアランスケース セキュリティオペレーションセンター インシデント対応 脆弱性管理 SBOM フォレンジック 生成AI SLAM	blockchain cyberattack methods software partitioning data mining data visualization data representation format file system database communication middleware language processing system operating system distributed framework autonomous driving system platform (Autoware, Apollo) vehicle OS modeling language HILS, SILS design pattern programming language coding guidelines auto code test framework debug tool profiler test coverage CI/CT CMMI (capability maturity model integration) assurance case security operation center incident response vulnerability management SBOM forensic generative AI SLAM	最適化アルゴリズム 形式手法 並列/分散アルゴリズム 量子技術 機械学習 クラウドコンピューティング エッジコンピューティング IoT Web技術 ユーチュンタフェース/UX マルチメディア 計測・制御ソフトウェア セーフティ (機能安全, SOTIF) サイバーセキュリティ プライバシー保護 AI・データ解析 ビッグデータ データストレージ 通信ソフトウェア ソフトウェアプラットフォーム SDV SDV ECU統合 ソフトウェア開発方法論 ソフトウェア開発プロセス 要求分析 System-of-systems システムズエンジニアリング/MBSE ソフトウェアアーキテクチャ CAE/シミュレーション デジタルツイン ソフトウェア設計 コーディング ソフトウェアテスト 性能評価	optimization algorithm formal methods parallel/distributed algorithms quantum technology machine learning cloud computing edge computing IoT web technologies user interface/UX multimedia measurement and control software safety (functional safety, SOTIF) cybersecurity privacy protection AI and data analysis big data data storage communication software software platform SDV SDV ECU integration software development methodology software development process requirements analysis system-of-systems systems engineering/MBSE software architecture CAE/simulation digital twin software design coding software testing performance evaluation

	ダイナミックマップ 侵入検知 耐量子暗号 メッセージ認証コード 電子署名 ISO 26262 セキュリティ要求分析 XML DDS SOME/IP AUTOSAR AGL (Automotive Grade Linux) ROS (Robot Operating System) UML SysML ソフトウェアプロダクトライン開発 サービス指向アーキテクチャ (SOA) MISRA-C コードレビュー リファクタリング Automotive SPICE セーフティケース レートモノトニックアナリシス	dynamic map intrusion detection post-quantum cryptography message authentication code digital signature ISO 26262 security requirements analysis XML DDS SOME/IP AUTOSAR AGL (Automotive Grade Linux) ROS (Robot Operating System) UML SysML software product line development service-oriented architecture (SOA) MISRA-C code review refactoring Automotive SPICE safety case rate monotonic analysis	ソフトウェア品質保証 情報システム運用 DevOps ソフトウェア保守 キャリブレーション 動的テスト手法 静的テスト手法 アジャイル開発手法 ソフトウェア品質手法 人間中心設計 オブジェクト指向設計 モデルベース設計 (MBD) コンテナ技術 リアルタイム性保証技術 ソフトウェア設計技術 OTA技術 要求分析技術 アーキテクチャ設計技術 分散コンピューティング技術 仮想化技術 ハードウェア診断技術 ソフトウェア自己診断技術	software quality assurance information system operation DevOps software maintenance calibration dynamic testing static testing agile development software quality human-centered design object-oriented design model-based design (MBD) container real-time assurance software design OTA technology requirements analysis Architecture Design Techniques distributed computing virtualization hardware diagnostic software self-diagnostic
(F1)	⑯社会システム social system	省エネ運転 電気社会システム スマートシティ 交通流制御 エネルギーインフラ 道路インフラ カー/ライドシェア	energy-saving driving electricity-based society systems smart city traffic stream control energy infrastructure road infrastructure car/ride sharing	交通環境 traffic environment 交通工学 traffic engineering 交通流 traffic stream 安全教育 safety education 道路 road
(F2)	⑰法規・技術者倫理等 regulation/engineering ethics	規格/規制 法規/認証 エシカルエンジニアリング（倫理） 知財 政策提案 技術者教育/育成 人材管理 人材育成 組織管理 プロジェクト管理 開発プロセス管理 課題トラッキングシステム トレーサビリティ管理 要件管理 構成管理・バージョン管理 知識/スキル体系 自動車技術史	standard/regulation regulation/certification ethical engineering intellectual property policy proposal engineering education/training human resources management human resources development organization management project management development process management issue tracking system traceability management requirements management configuration and version management knowledge/skill framework history of automotive technology	
(F3)	⑱その他のモビリティ other means of mobility	航空機 アビオニクス 海洋/船舶 航空宇宙 鉄道 パーソナルモビリティ	airplane avionics marine/shipping aerospace rail personal mobility	

#	略語	英語フルスペル	日本語
1	ABS	Antilock Brake System	アンチロックブレーキシステム
2	ACC	Adaptive Cruise Control	車間距離制御システム
3	AMT	Automated Manual Transmission	自動化マニュアルトランスマッision
4	AWD	All Wheel Drive	全輪駆動(4輪駆動)
5	BDF	Bio Diesel Fuel	バイオディーゼルフューエル
6	BOM	Bills of Materials	部品表
7	CAD	Computer Aided Design	コンピュータ支援設計
8	CAE	Computer Aided Engineering	コンピュータ支援技術
9	CAM	Computer Aided Manufacturing	コンピュータ支援加工
10	CAN	Controller Area Network	コントローラエリアネットワーク
11	CAT	Computer Aided Testing	コンピュータ支援検査
12	CFD	Computational Fluid Dynamics	数値流体力学
13	CRS	Child Restraint System	幼児拘束装置
14	CVT	Continuously Variable Transmission	無段変速機
15	DCT	Dual Clutch Transmission	デュアルクラッチトランスマッision
16	DME	Dimethyl Ether	ジメチルエーテル
17	ECU	Electronic Control Unit	エンジン制御コンピュータ
18	EDR	Event Data Recorder	イベントレコーダ
19	EMC	Electromagnetic Compatibility	電磁妨害感受性
20	EMI	Electromagnetic Interference	電波障害
21	EMS	Electromagnetic Susceptibility	電磁的免疫性
22	EV	Electric Vehicle	電気自動車
23	FT	Fischer Tropsch	フィッシャートロプッシュ
24	HD	High Definition	ハイディフィニション
25	HEV	Hybrid Electric Vehicle	ハイブリッドカー
26	HILS	Hardware In the Loop Simulation	HILシミュレーション
27	HMI	Human Machine Interface	ヒューマンマシンインターフェース
28	ISS	Injury Severity Score	傷害度スコア
29	IT	Information Technology	情報技術
30	ITS	Intelligent Transport System	高度道路交通システム
31	LCA	Life Cycle Assessment	ライフサイクルアセスメント
32	LED	Light Emitting Diode	発光ダイオード
33	LIN	Local Interconnect Network	ローカルインタコネクトネットワーク
34	LSI	Large Scale Integration Circuit	大規模集積回路
35	MEMS	Micro Electro Mechanical Systems	メムス
36	MES	Manufacturing Execution System	製造実行システム
37	OBD	On Board Diagnosis	車載診断
38	PCU	Power Control Unit	パワーコントロールユニット
39	PDM	Product Data Management	製品情報管理
40	PLC	Power Line Communications	電力線搬送通信
41	PLM	Product Lifecycle Management	製品ライフサイクル管理
42	PND	Portable Navigation Device	可搬型ナビゲーション装置
43	SCR	Selective Catalytic Reduction	選択触媒還元
44	SMC	Sheet Molding Compound	シートモールディングコンパウンド
45	SOC	State Of Charge	充電レベル
46	UWB	Ultra Wide Band Radar	超広帯域無線
47	V2G	Vehicle to Grid	ビークルトゥグリッド
48	VOC	Volatile Organic Compounds	揮発性有機化合物

公益社団法人自動車技術会 学術講演会原稿執筆要領

1989年 10月 1日 第 1版 発行	2011年 2月 7日 第 21版 発行
1991年 9月 1日 第 2版 発行	2011年 6月 15日 第 22版 発行
1993年 10月 1日 第 3版 発行	2012年 6月 15日 第 23版 発行
1994年 10月 1日 第 4版 発行	2013年 2月 1日 第 24版 発行
1995年 10月 1日 第 5版 発行	2013年 10月 1日 第 25版 発行
1996年 10月 1日 第 6版 発行	2014年 9月 1日 第 26版 発行
1997年 10月 1日 第 7版 発行	2016年 2月 1日 第 27版 発行
1998年 10月 1日 第 8版 発行	2018年 10月 9日 第 28版 発行
1999年 10月 1日 第 9版 発行	2021年 10月 1日 第 29版 発行
2000年 3月 1日 第 10版 発行	2025年 12月 15日 第 30版 発行
2000年 9月 1日 第 11版 発行	
2001年 1月 1日 第 12版 発行	
2003年 2月 1日 第 13版 発行	
2004年 1月 9日 第 14版 発行	
2006年 2月 1日 第 15版 発行	
2009年 2月 1日 第 16版 発行	
2009年 8月 1日 第 17版 発行	
2009年 10月 1日 第 18版 発行	
2010年 2月 1日 第 19版 発行	
2010年 7月 9日 第 20版 発行	

編 集 学術講演会運営委員会

発行所 公益社団法人 自動車技術会

〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2

事務局：技術交流課

Tel. 03-3262-8235

Fax. 03-3261-2204

E-mail: tech@jsae.or.jp

© 自動車技術会, 2025

本誌に掲載された全ての記事内容は、公益社団法人自動車技術会の許可なく転載・複写することは出来ません。